

イオンモールの重要課題

イオンモールは、SDGsと日本特有の社会課題を考慮したマテリアリティ分析を実施、ステークホルダーおよび自社にとっての重要度を評価し、重要なマテリアリティを5分野10項目に整理しました。そして、10のマテリアリティに対し、従業員が話し合いを重ね、KGI(最終目標)とKPI(中間目標)を決定しました。当社が2050年にめざす姿として掲げたKGIに合わせて、2030年までに達成すべき具体的なKPIを設定し、全社で課題を共有、一体となって解決に取り組むことで、地域のお客さまや持続可能な社会に貢献していきます。

マテリアリティ		KGI(2050年のありたい姿)		KPI(2030年までの行動指標)	2021年度までの進捗
地域・社会インフラ開発 → P51 	持続可能かつレジリエントなインフラ開発	地域の方が常に安全・安心を感じるこことできる社会		・BCP体制の強化策としての国内全モール防災拠点化 ・地方自治体との防災協定締結割合	・防災拠点: 142モール中 49モール(34.5%) ※2022年7月末 ・防災協定: 142モール中122モール(85.9%) ※2022年7月末
	生産消費形態	適切な生産消費により地球環境への影響が限りなくゼロに近い社会		・エシカル消費の推進 グリーン購入率 ・脱プラスチックの取り組み推進	・グリーン購入率: 40% ※直営モール、事務所での備品発注システムグリーン購入率
地域とのつながり → P53 	文化の保存・継承	文化継承のプラットフォームが構築されている社会		・伝統・文化イベントの積極的開催と海外含む他地域への展開	2021年度: イオンワンパーセントクラブ支援行事27件
	少子化・高齢化社会	キッズ、シニア含むすべての人が快適に暮らせる社会		・子ども向けサービスの充実 ・認知症サポーター数	・認知症サポーター数: 約860名
環境 → P55   	気候変動・地球温暖化	1. 脱炭素が達成された社会 2. 地域全体で環境配慮に取り組む社会		・EV充電器設置の拡大 EV充電器設置台数 ・再生可能エネルギー創出による年間CO ₂ 排出量総量35%削減 ・地域住民、専門店向け環境啓蒙取り組みの強化 ・eco検定の取得率100%	・EV充電器設置台数: 1,859基(国内外) ・CO ₂ フリー電力調達: 約15%(国内直営モール) ※2022年末見込み ・eco検定の取得率: 85%
	生物多様性・資源の保護	環境に配慮し自然と調和した社会		・ABINC認証(いきもの共生事業所)の取得モール数 ・リサイクル率70%の達成 ※サーマルリサイクル除く	・ABINC認証取得モール: 15モール ※2022年7月末 ・リサイクル率: 62.0%
ダイバーシティ・働き方改革 → P67   	健康と福祉	すべての方が心身ともに健康でいられる社会		・健康的なライフスタイルの提案	・専門店従業員休憩室整備による専門店従業員の職場環境改善(ES(従業員満足度)向上) ・キャリアプラン面談によるイオンモール従業員の成長やライフスタイルに合わせた働き方のサポート
	多様性・働き方	人種、国籍、年齢、性別、場所に関わらずすべての人に均等な機会が与えられている社会		・女性管理職比率2023年度末30% ・男性育児休業取得率100% ・グローバルで活躍する人材育成の推進	・女性管理職比率: 19.4% ・男性育児休業取得率: 100%
責任あるビジネスの推進 → P73  	人権	すべての人に対して人権が尊重されている社会		・人権デュー・ディリジェンスのプロセスの設定・導入 ・人権教育研修100%受講	・人権教育研修受講率: 100%
	贈収賄	インシデント発生件数0件		・贈賄防止基本規則の遵守に向けた贈賄教育・啓発の実施 ・就業規則内、収賄防止条項の継続的遵守 ・贈賄防止基本規則の遵守体制の継続的な見直しと贈賄防止基本規則の遵守状況の年1回以上の代表取締役社長への報告および是正の徹底	・日本、中国: 階層別の贈賄防止教育を実施 ・ベトナム、カンボジア、インドネシア: 贈賄防止教育を実施 ・ベトナム: 新たに贈賄防止規則を制定